



**TIS**

TIS INTEC Group

Go Beyond

# 2018年3月期 決算説明資料

---

2018.5.10

TIS株式会社



**2018年3月期 業績概要**

2019年3月期 業績見通し

参考資料

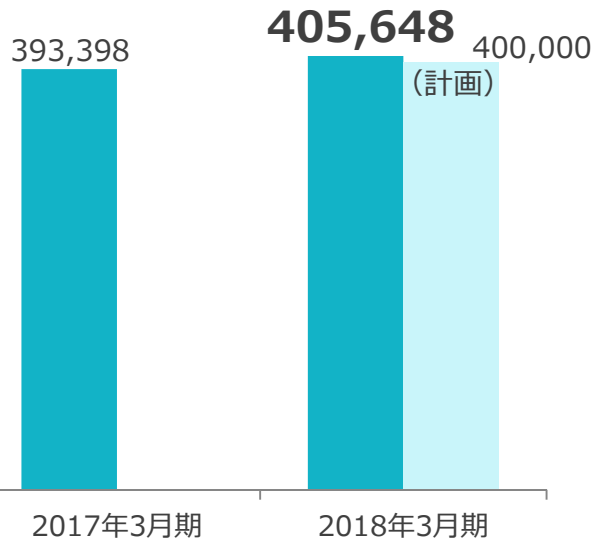
## 2018年3月期 業績ハイライト①

(単位：百万円)

・良好な事業環境を背景に、事業拡大や収益向上の取組み等により、前期比増収増益。計画過達。

### 売上高

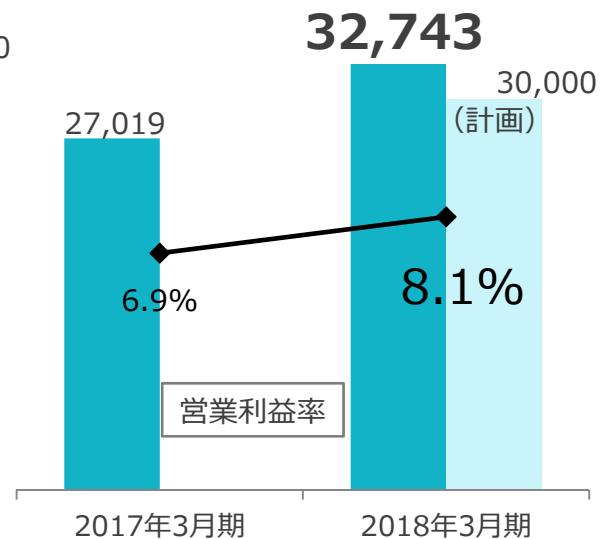
- 前期比+12,249百万円 (+3.1%)
- 計画比+ 5,648百万円 (+1.4%)



IT投資動向が強まりを見せる分野において顧客ニーズを的確に捉えたこと等が牽引し、前期比増収。計画過達。

### 営業利益

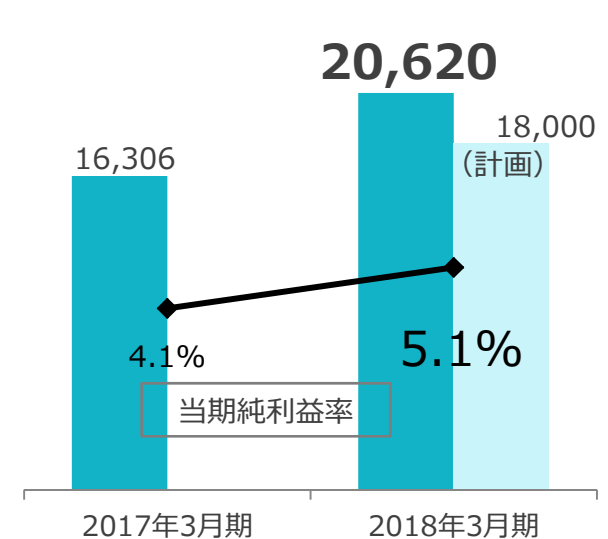
- 前期比+5,724百万円 (+21.2%)
- 計画比+2,743百万円 (+ 9.1%)



増収効果、不採算案件抑制を含む収益性向上に向けた取組みが、従業員の処遇改善や競争力強化に向けたコスト増を吸収し、前期比増益。計画過達。

### 親会社株主に帰属する 当期純利益

- 前期比+4,314百万円 (+26.5%)
- 計画比+2,620百万円 (+14.6%)



主に営業利益の増加に伴い、前期比増益。計画過達。

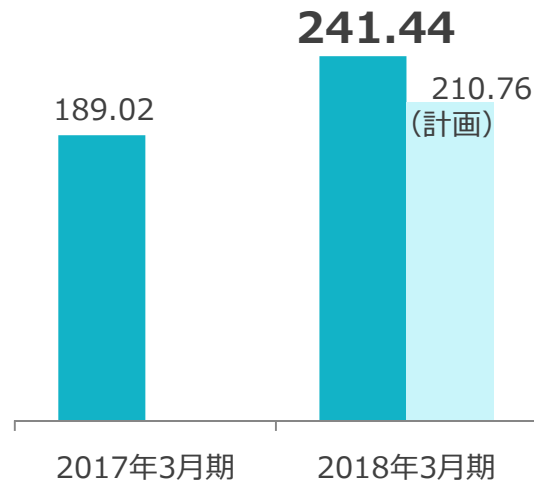
## 2018年3月期 業績ハイライト②

(単位：円)

・ROEは、収益性向上等に伴い前期比向上。期初試算を超過。

### 一株当たり当期純利益

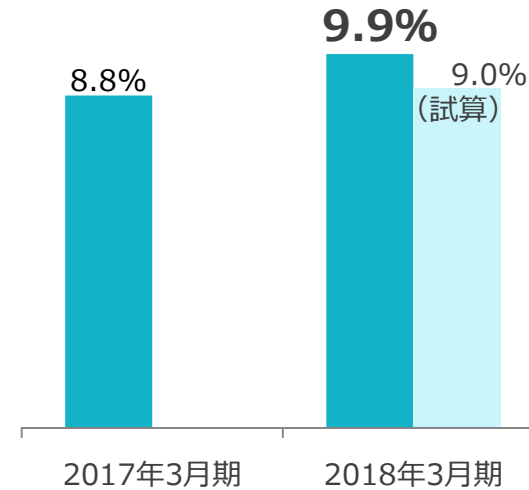
- 前期比 +52.42円 (+27.7%)
- 計画比 +30.68円 (+14.6%)



親会社株主に帰属する当期純利益の増加に伴い、前期比向上。計画過達。

### 自己資本当期純利益率

- 前期比 +1.1%
- 試算比 +0.9%



主として収益性向上により、前期比向上。期初試算を超過。

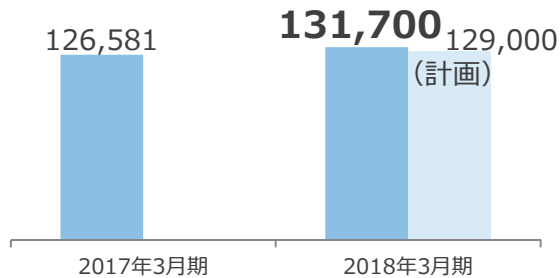
# 2018年3月期 主要セグメント別損益状況

(単位：百万円)

## <ITインフラストラクチャーサービス>

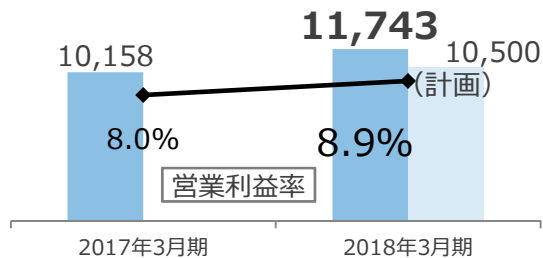
### 売上高

前期比+5,118百万円 (+4.0%)  
計画比+2,700百万円 (+2.1%)



### 営業利益

前期比+1,584百万円 (+15.6%)  
計画比+1,243百万円 (+11.8%)

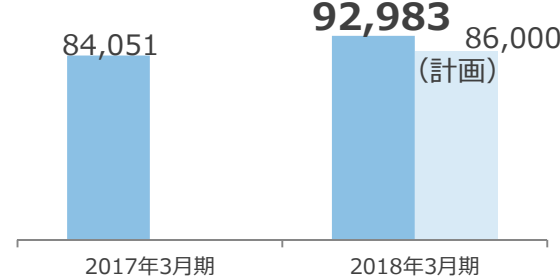


公共系の大型運用案件の寄与やクラウド関連ビジネス拡大等によるデータセンター事業の堅調な推移に加え、BPO事業の拡大が、事業強化のための費用増等を吸収し、前期比増収増益、計画超過。

## <金融ITサービス>

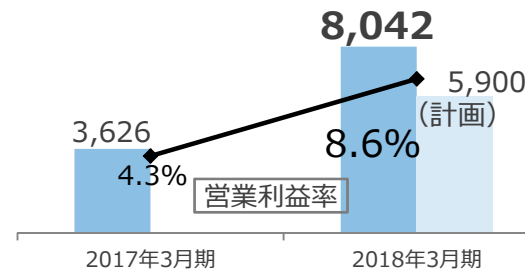
### 売上高

前期比 +8,931百万円 (+10.6%)  
計画比 +6,983百万円 (+ 8.1%)



### 営業利益

前期比 +4,416百万円 (+121.8%)  
計画比 +2,142百万円 (+ 36.3%)

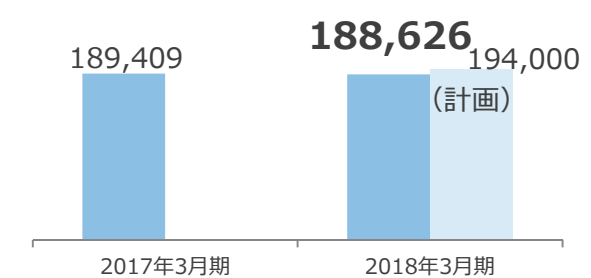


クレジットカード系大型開発案件の寄与や、顧客の決済関連分野におけるIT投資拡大の動きに伴う事業拡大のほか、不採算案件の抑制効果等により前期比増収増益、計画超過。

## <産業ITサービス>

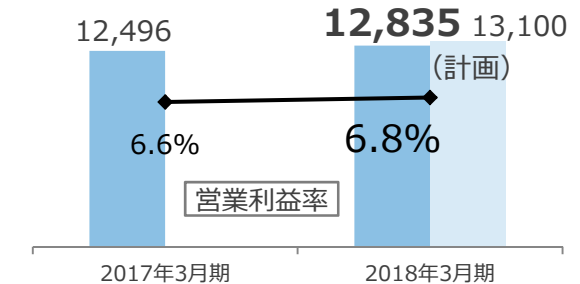
### 売上高

前期比 ▲ 782百万円 (▲0.4%)  
計画比 ▲5,374百万円 (▲2.8%)



### 営業利益

前期比 + 339百万円 (+2.7%)  
計画比 ▲ 265百万円 (▲2.0%)

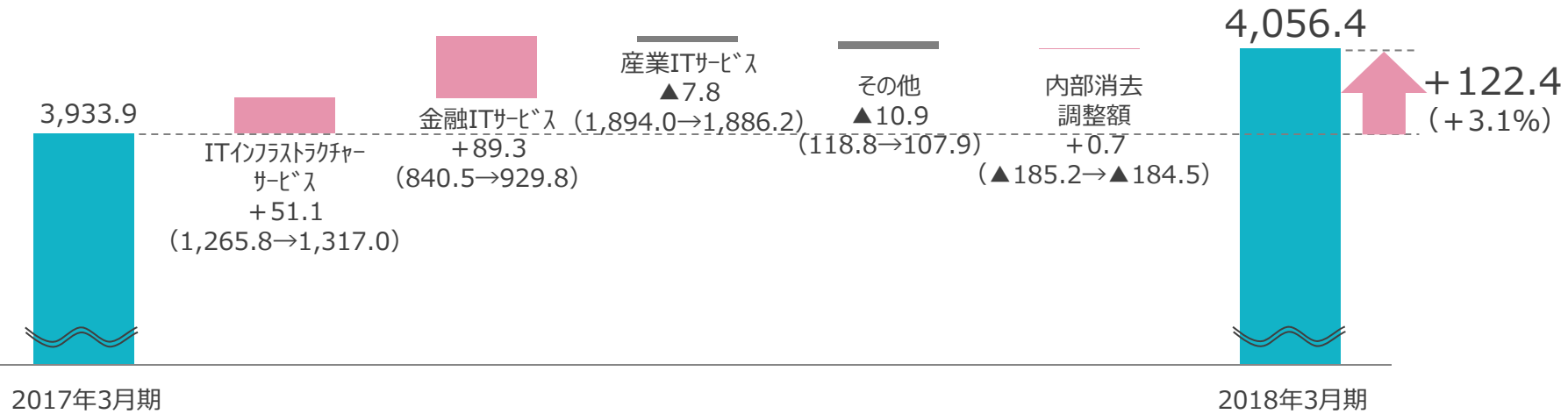


売上高は大型開発案件の反動減あるも、IT投資拡大の動き等により前期並み。営業利益は、収益性向上に向けた取組みが進展する中で、専任組織の設置や体制強化に関わる費用増等により前期比増益。計画未達。

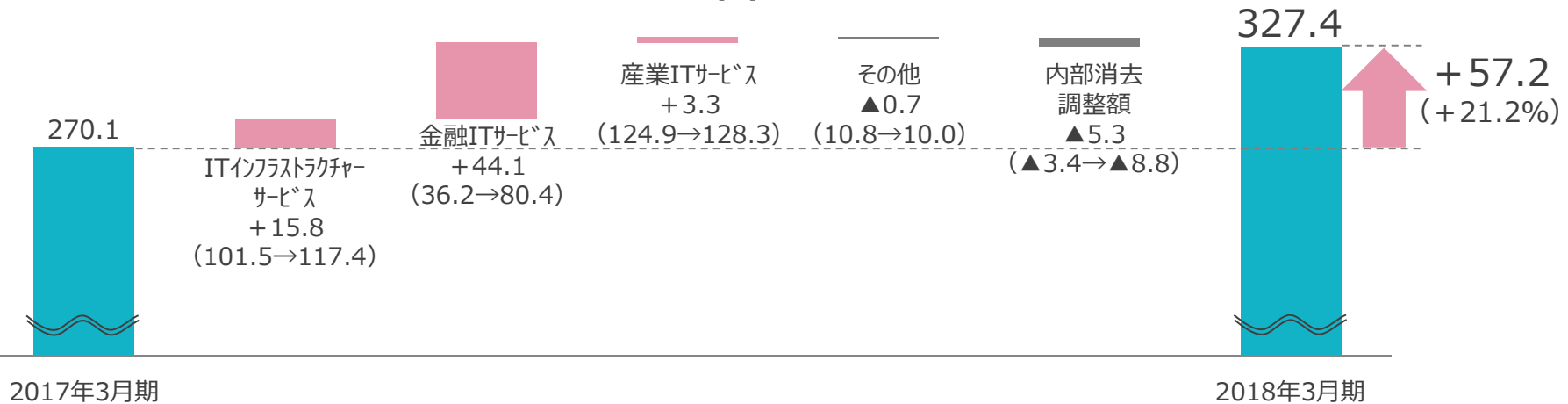
# 2018年3月期 売上高・営業利益増減分析

(単位：億円)

## 売上高



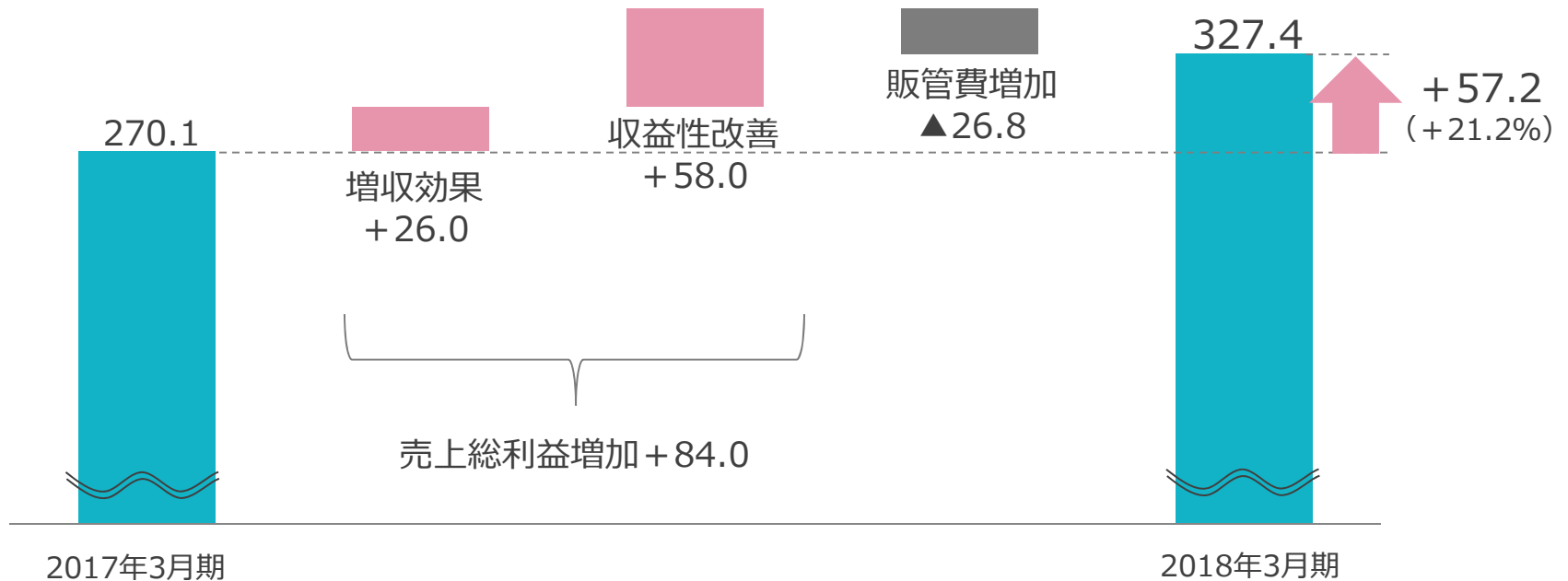
## 営業利益



# 2018年3月期 営業利益要因別増減分析

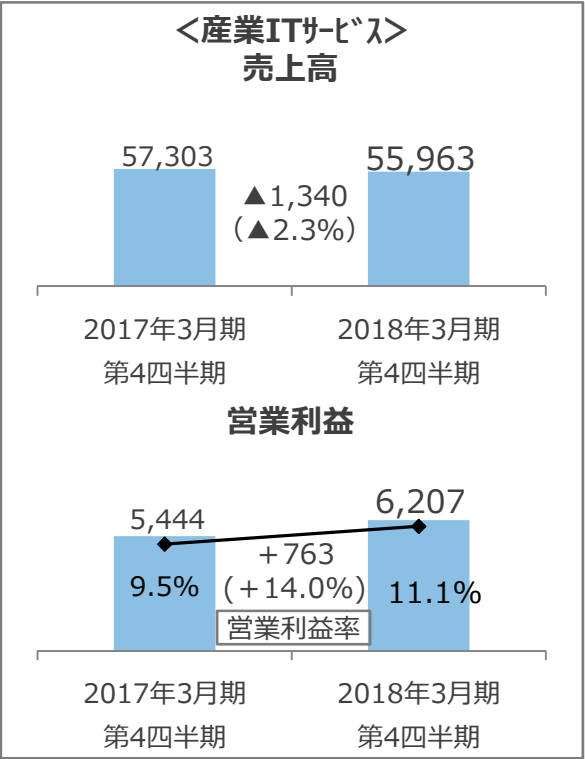
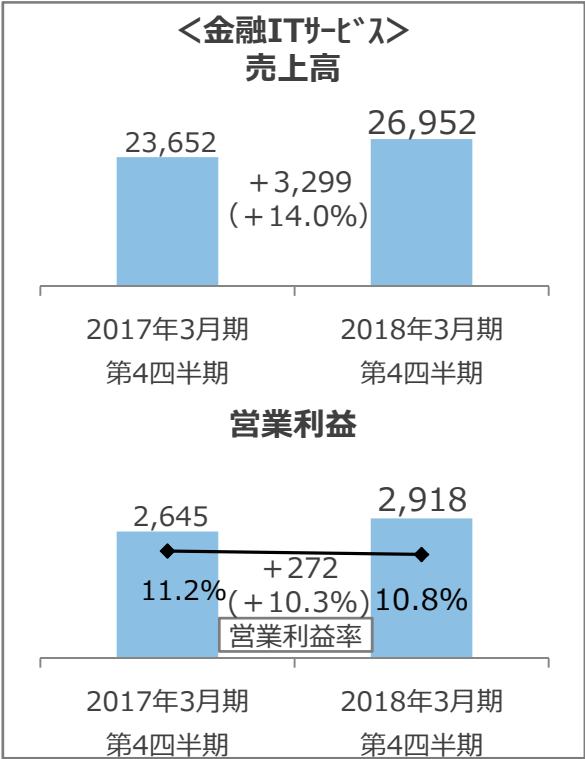
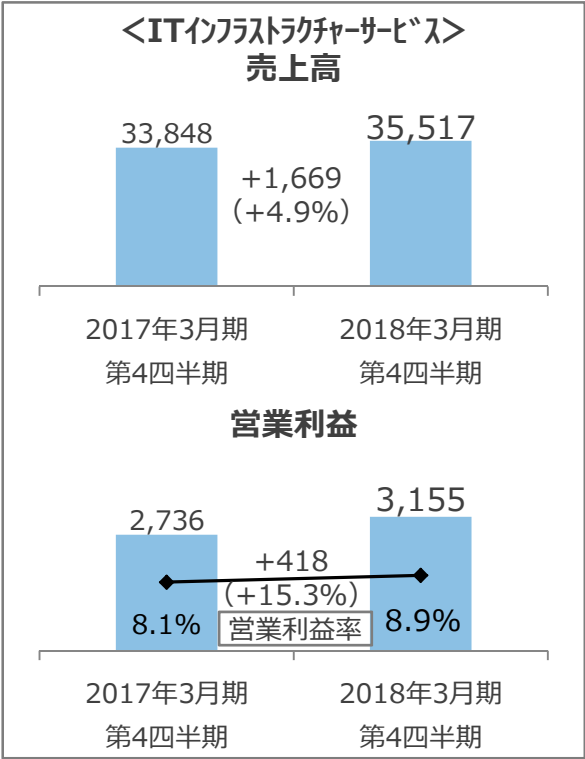
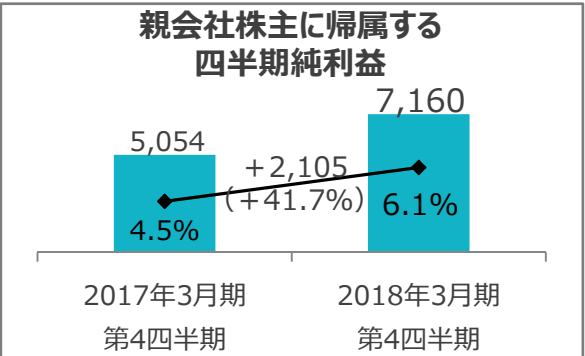
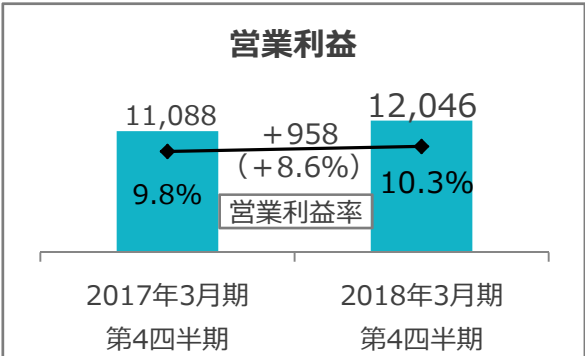
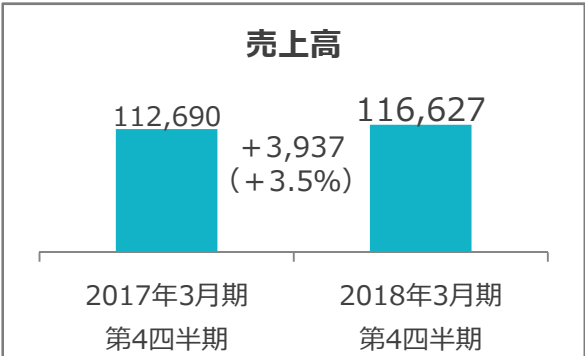
(単位：億円)

前期比



# (参考) 2018年3月期第4四半期 (1-3月) 業績ハイライト・主要セグメント別損益

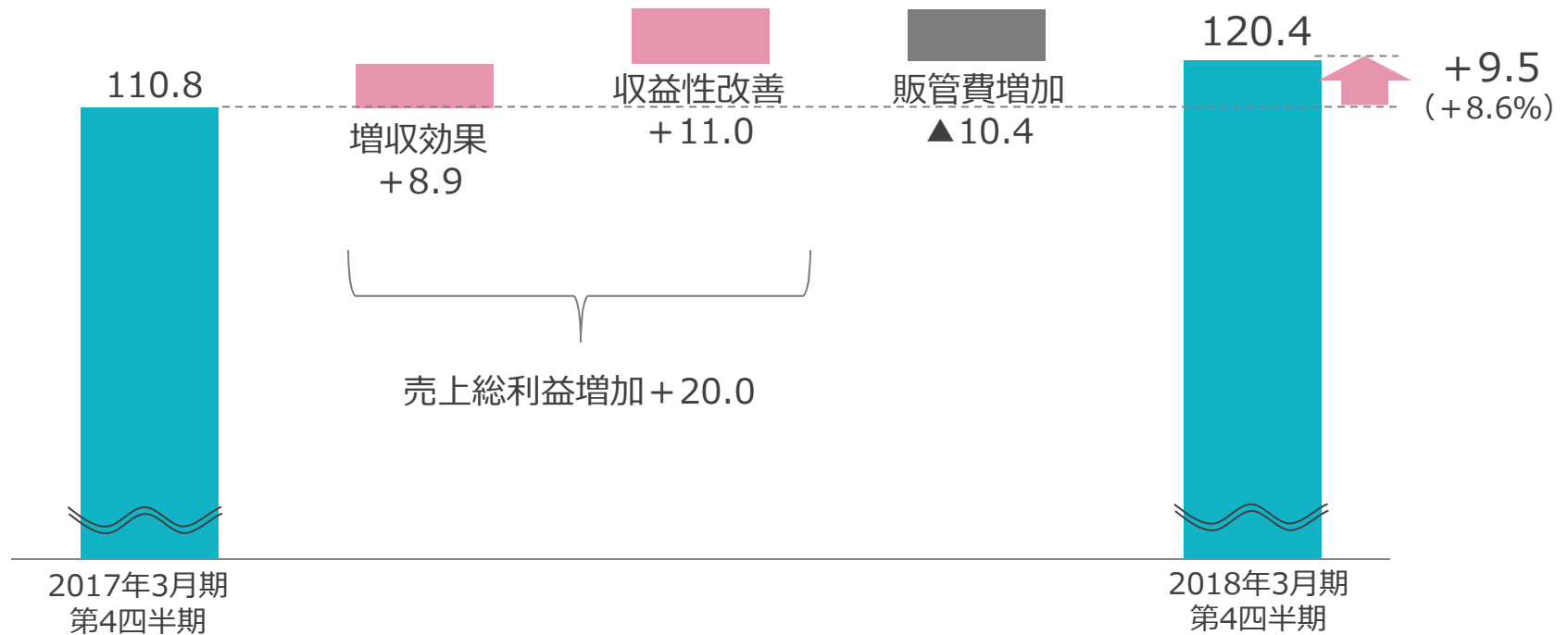
(単位：百万円)





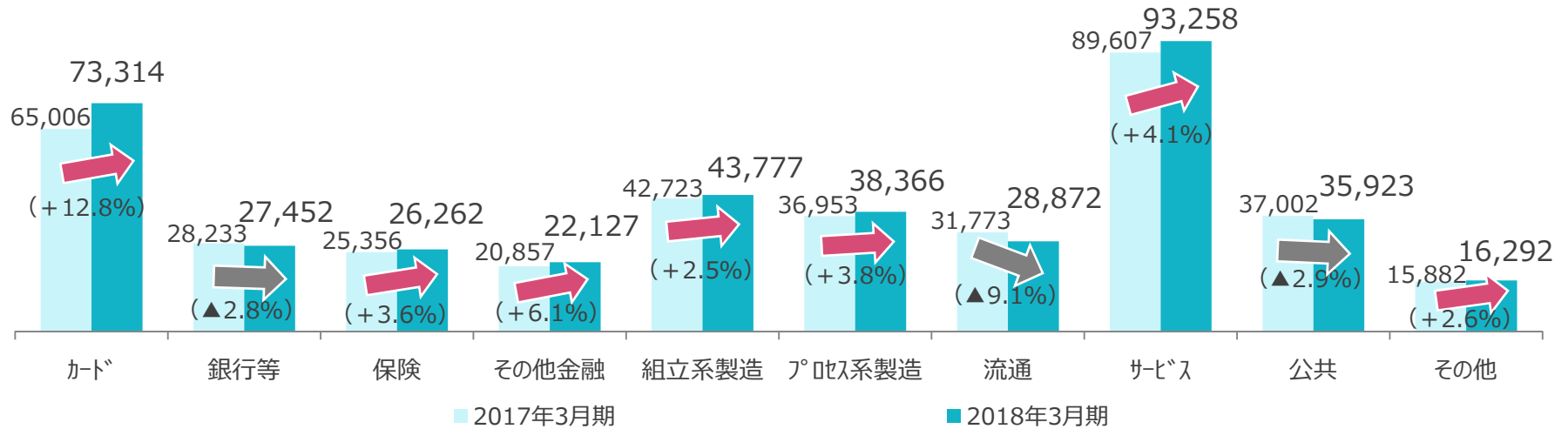
# (参考) 2018年3月期第4四半期 (1-3月) 営業利益要因別増減分析

(単位：億円)

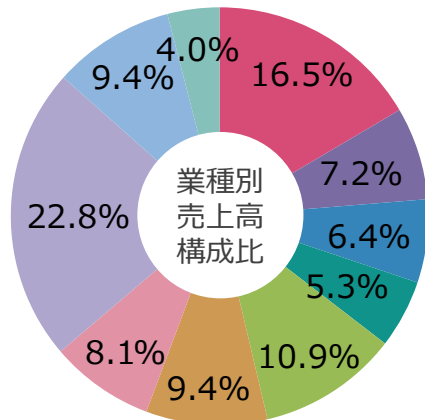


# 2018年3月期 顧客業種別売上高

(単位：百万円)

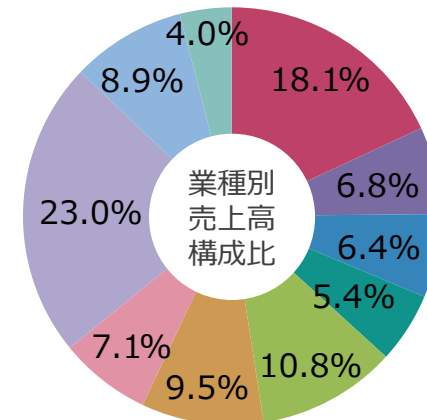


<2017年3月期>



金融分野：35.4% 産業分野：51.2%  
公共分野：9.4% その他：4.0%

<2018年3月期>



金融分野：36.7% 産業分野：50.4%  
公共分野：8.9% その他：4.0%

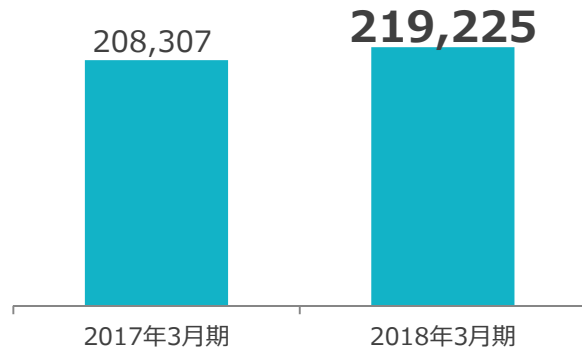
# 2018年3月期 受注状況

(単位：百万円)

- ・当期受注高、期末受注残とも、大型開発案件の反動減等を吸収し、前期を上回る水準を確保。
- ・上期は低調だった産業ITサービスの受注高も下期に回復、通期では前期比増加。

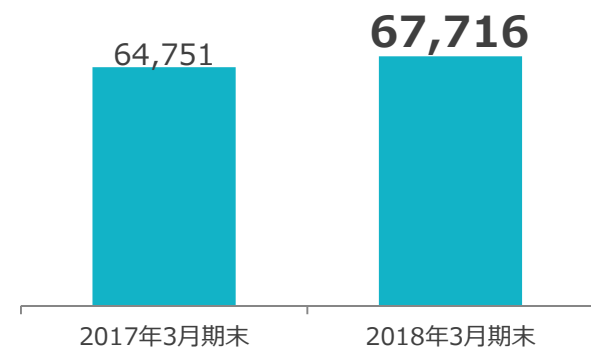
## 受注高

- 前期比+10,918百万円 (+5.2%)

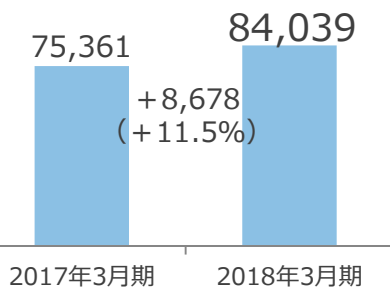


## 期末受注残高

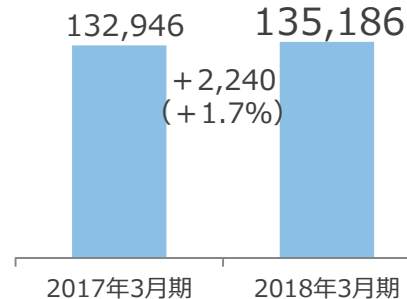
- 前期比+2,965百万円 (+4.6%)



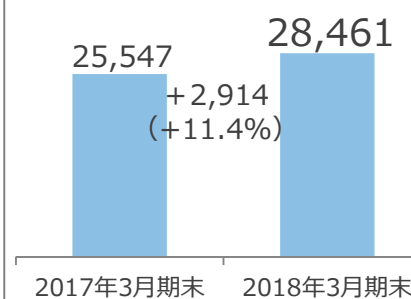
### <金融ITサービス>



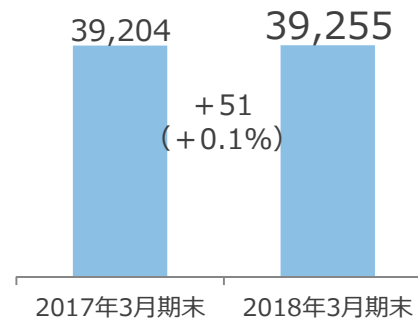
### <産業ITサービス>



### <金融ITサービス>

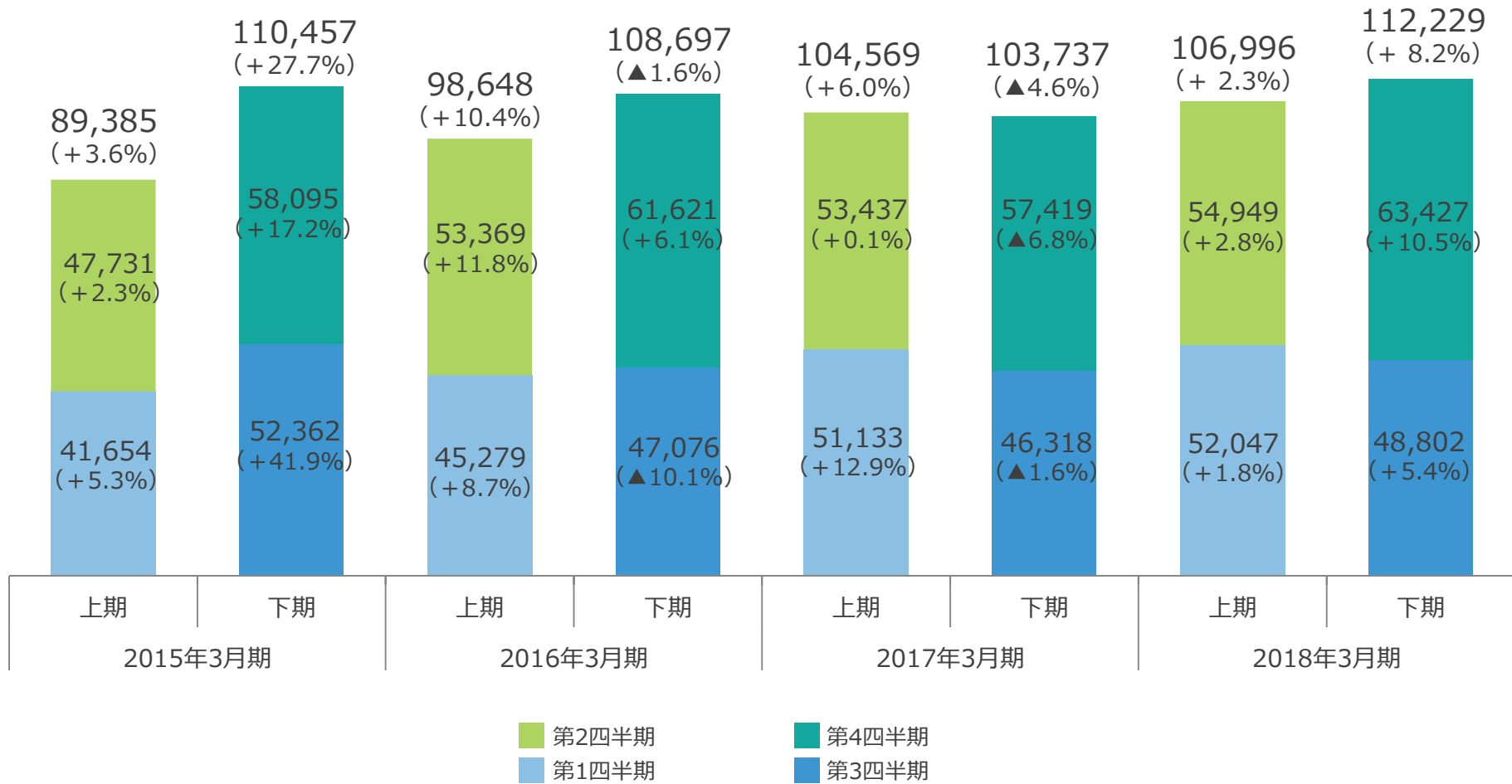


### <産業ITサービス>



# 受注高の推移

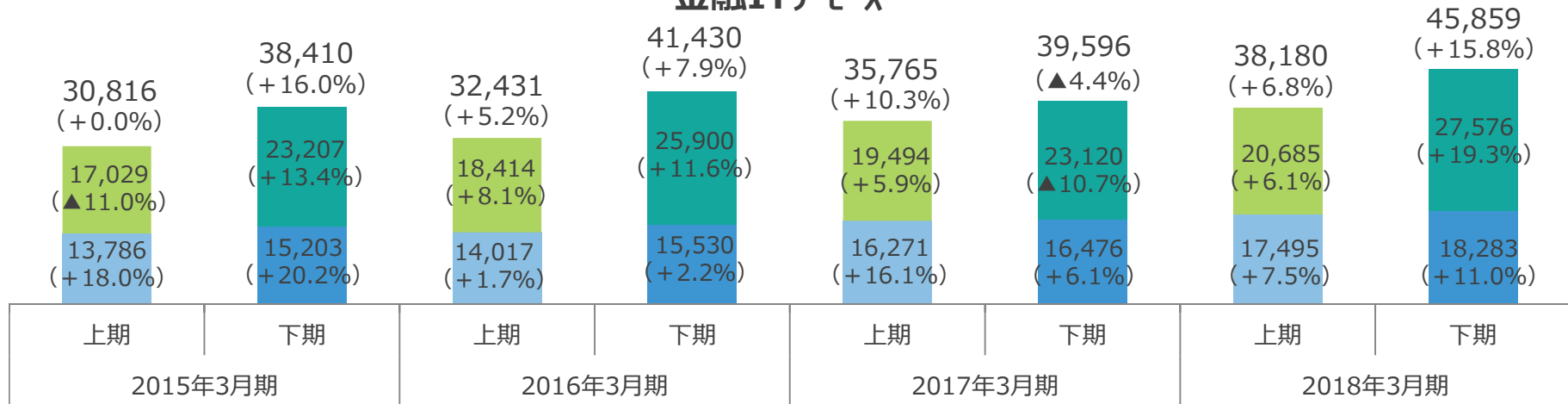
(単位：百万円)



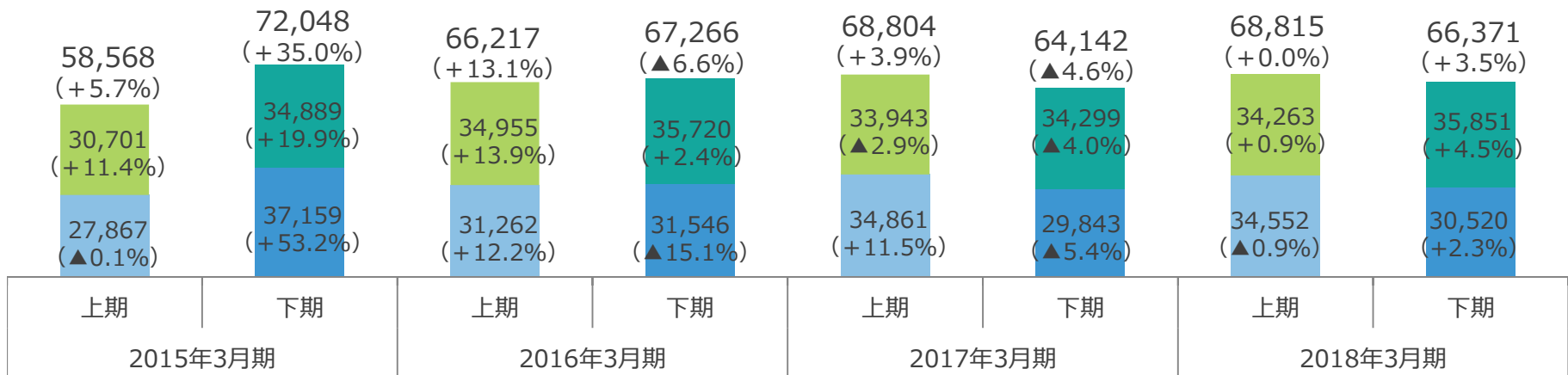
# 受注高の推移

(単位：百万円)

## 金融ITサービス



## 産業ITサービス



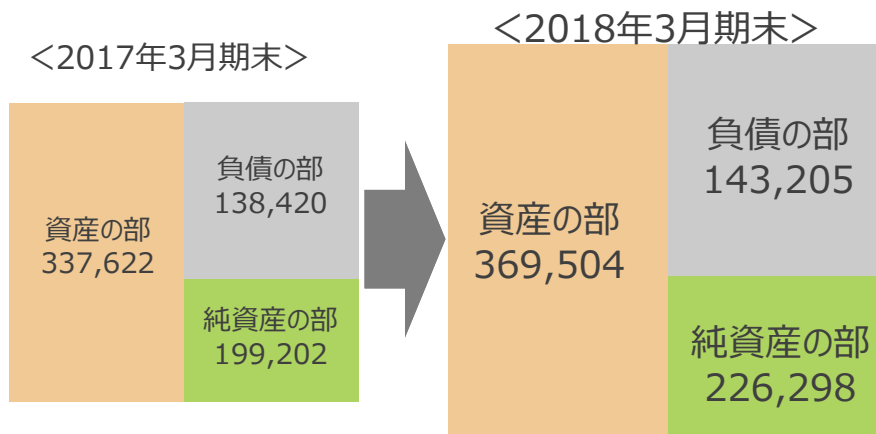
■ 第2四半期      ■ 第4四半期  
■ 第1四半期      ■ 第3四半期

## 2018年3月期 貸借対照表、キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

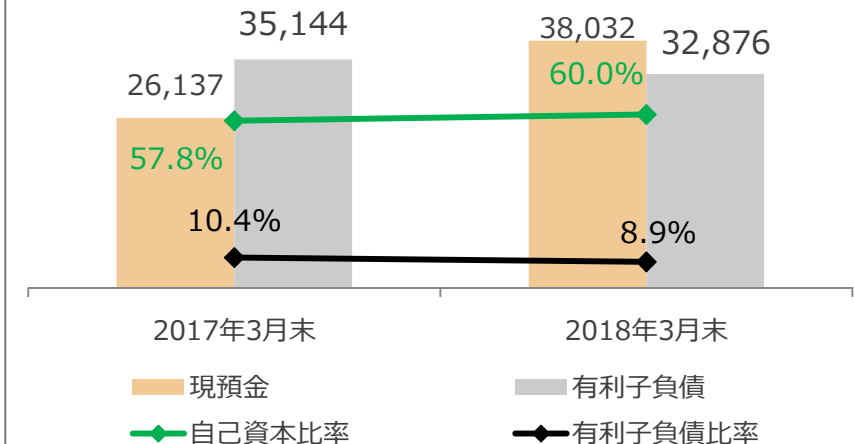
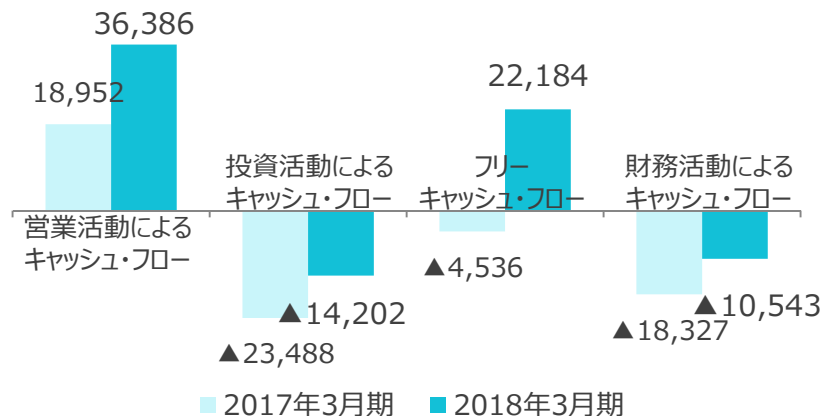
- ・総資産は、主に投資有価証券の時価増加等による影響で増加。
- ・政策保有株式や不動産等、資産圧縮の推進は継続。

### 貸借対照表の状況



- **資産の部：+31,881百万円**
  - ・流動資産：+16,507百万円（現金及び預金 +11,895百万円 等）
  - ・固定資産：+15,373百万円（投資有価証券 +14,610百万円 等）
- **負債の部：+ 4,785百万円**
  - ・流動負債：+2,635百万円
  - ・固定負債：+2,149百万円
- **純資産の部：+27,096百万円**
  - ・株主資本：+14,406百万円（利益剰余金 +17,452百万円 等）
  - ・その他包括利益累計額：+12,174百万円（その他有価証券評価差額金 +11,444百万円 等）
- **自己資本比率：60.0% (+2.2%)**
- **有利子負債：32,876百万円 (▲2,266百万円)**

### キャッシュ・フローの状況



2018年3月期 業績概要

2019年3月期 業績見通し

参考資料

(注) 2019年3月期から新マネジメント・アプローチの適用に伴い、セグメント区分を変更しています。

## 外部環境の認識

- ・デジタル経営への志向を強める顧客のIT投資ニーズ拡大等を背景とし、事業環境は引き続き堅調に推移すると期待。
- ・産業構造の変化や働き方改革といった社会課題など、外部環境の変化を敏感に汲み取り、社会課題の解決をリードする企業に変革していくことが、ビジネスの成長に不可欠と認識。

### サービスIT

- ✓ クラウドサービスの利用拡大の流れが継続。2020年にはクラウド調達が過半にも。
- ✓ 国内セキュリティ市場は2020年まで高成長継続、重要な経営課題化。
- ✓ 決済ビジネスの構造変化により幅広い業種でIT投資は高水準を継続。

### BPO

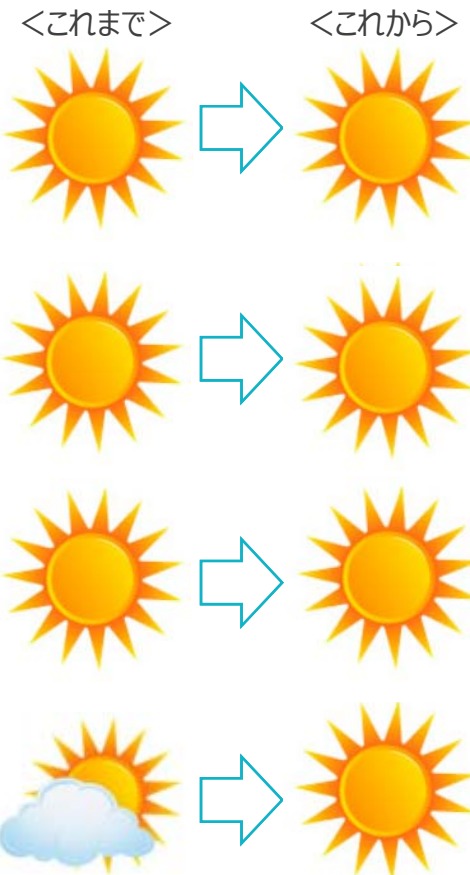
- ✓ BPO事業は企業経営の改善に資する業務アウトソーシングビジネス需要が引き続き拡大基調。
- ✓ 長期化する人材不足、働き方改革推進による環境変化によるデジタルイノベーションニーズの拡大。

### 金融IT

- ✓ クレジットカードでは基幹システムの更新需要、決済ビジネスの構造変化への対応等、IT投資は引き続き高水準。
- ✓ 銀行・保険は景況感不透明も、業界大手中心に、ビジネスやサービスの革新を進めるためのIT投資は回復傾向。

### 産業IT

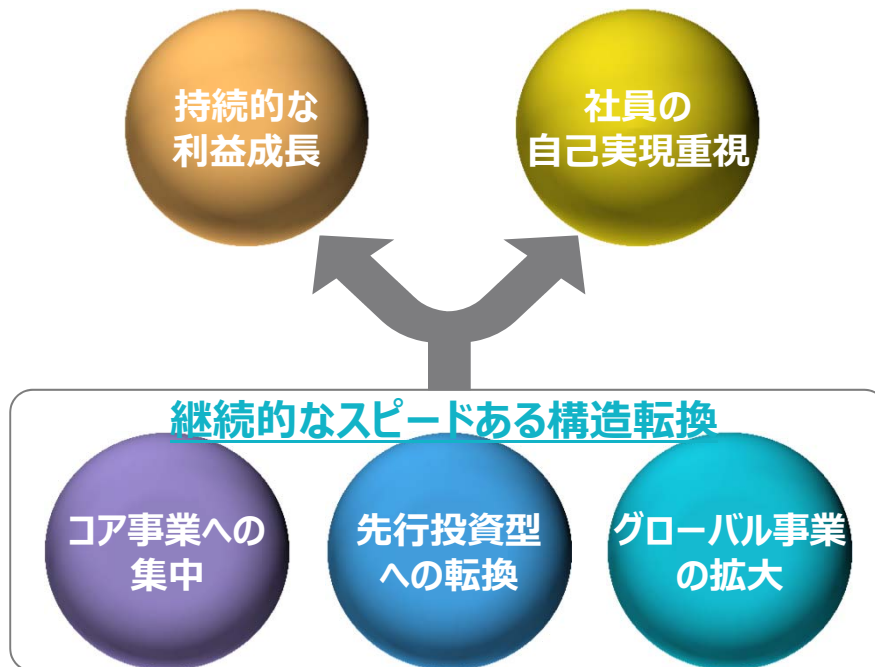
- ✓ 製造・サービス・流通では、マーケティング関連分野等、競争力強化を目的としたフロント系のIT投資拡大が継続。
- ✓ 電力・ガスシステム改革のIT投資は、今後の分社化対応などの新たな需要により引き合い増加を期待。





# 2019年3月期 グループ経営方針

## 中期経営計画（2018-2020） 基本方針



## 2019年3月期グループ経営方針

### サービス型への転換に向けたスタートダッシュ

「スピード・柔軟性を重視した価値観・スタイル」「知識集約型の事業構造」を目指した構造転換を強力推進

### 新サービス創出のための積極的な先行投資

サービス型ビジネスを成長エンジンとすべく成長・得意領域へ重点投資

### 強みの活きる領域での付加価値・生産性の向上

得意分野、重点顧客ビジネスへの集中、不採算案件撲滅、インハウスメント革新、良好な事業環境での受注採算性改善

### ASEANトップクラスのIT企業連合体を目指した成長戦略の推進

グローバル戦略に基づき海外パートナーと年月をかけ築いた協働を土台とした事業領域拡大・戦略的投資の発展

### 働きがい向上と人材マネジメント強化

グループ成長の原動力である社員が活躍できる仕組み・風土の構築を目指し、人事マニフェスト施策の着実な遂行

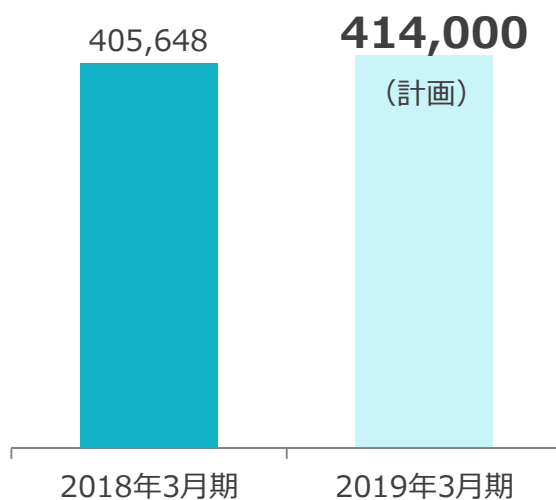
## 2019年3月期 業績予想ハイライト①

(単位：百万円)

- ・堅調な事業環境の中、大型案件の反動減を吸収し、増収増益を目指す。
- ・新中期経営計画で掲げる構造転換を推進するため、成長・得意領域へ積極的な投資を実行。

### 売上高

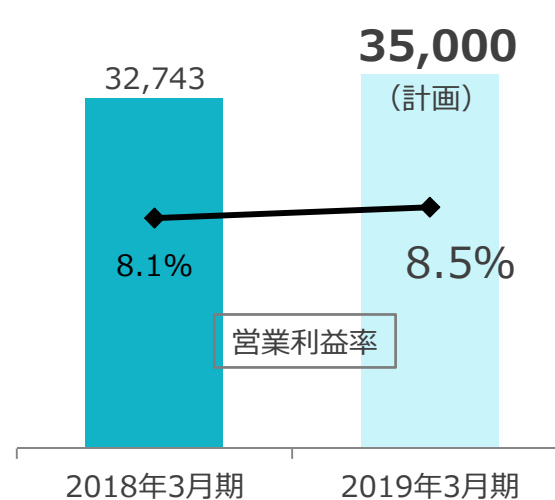
- 前期比+8,352百万円 (+2.1%)



サービスIT及び産業ITを中心として、顧客のIT投資ニーズへの的確な対応による事業拡大を図り、前期比増収を見込む。

### 営業利益

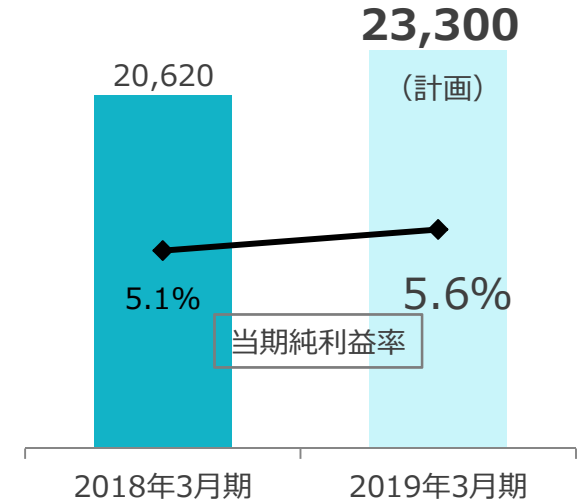
- 前期比+2,257百万円 (+6.9%)



増収効果、生産性向上等を継続推進。先行投資型へのシフト等、構造転換に向けた投資等のコスト負担増を吸収し、前期比増益を見込む。

### 親会社株主に帰属する 当期純利益

- 前期比+2,680百万円 (+13.0%)



営業利益の増加や、特別損益の改善に伴い、前期比増益を見込む。

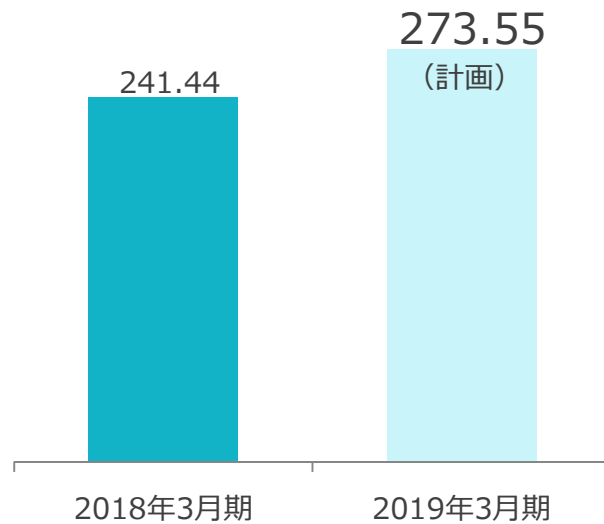
## 2019年3月期 業績予想ハイライト②

(単位：円)

・ROEは、初の10%超達成を目指す。

### 一株当たり当期純利益

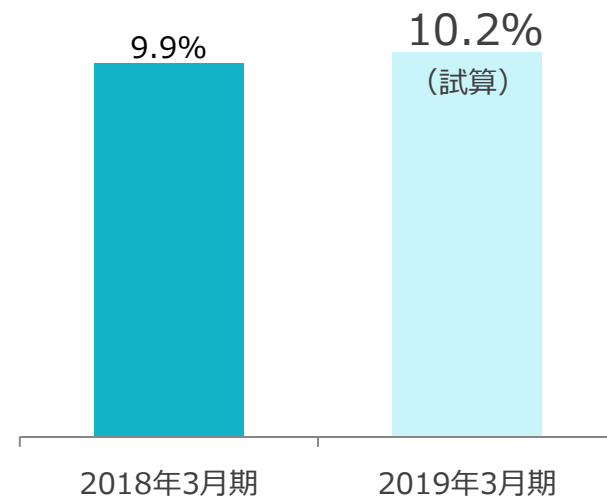
● 前期比 +32.11円 (+13.3%)



親会社株主に帰属する当期純利益の増加に伴い、前期比向上を見込む。

### 自己資本当期純利益率

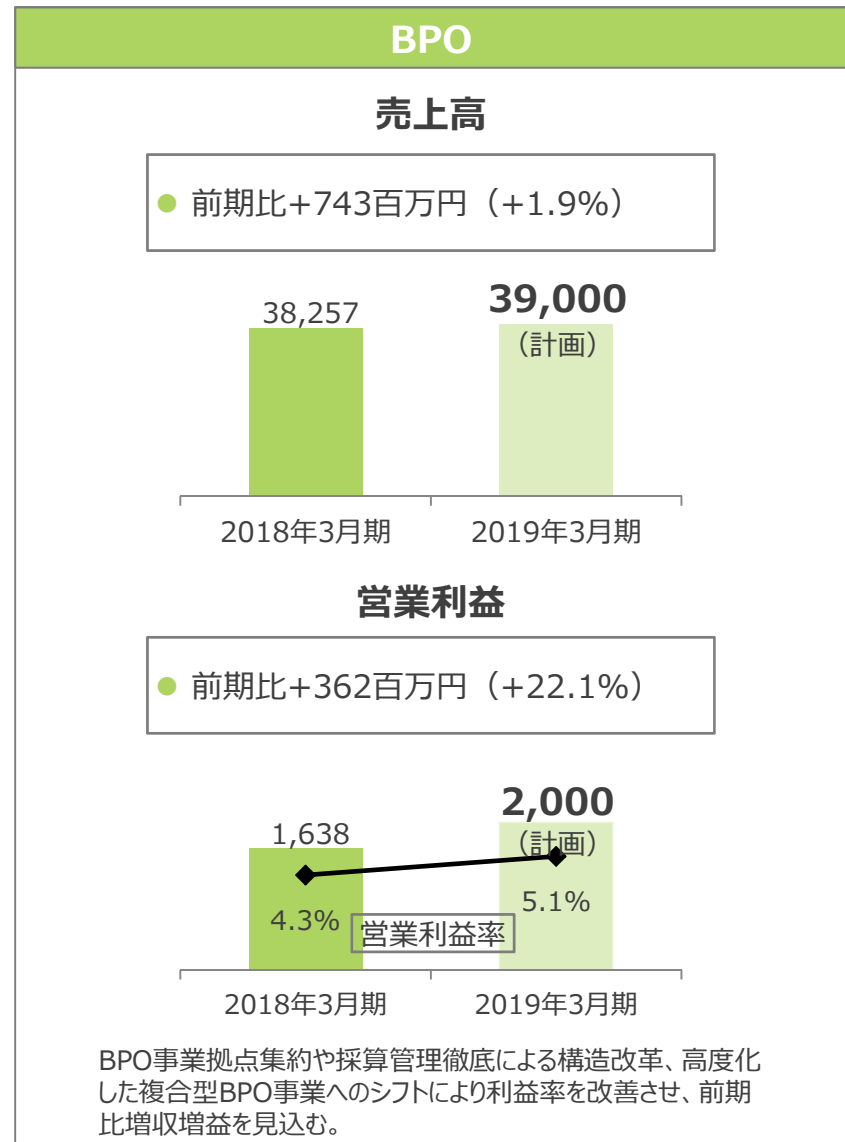
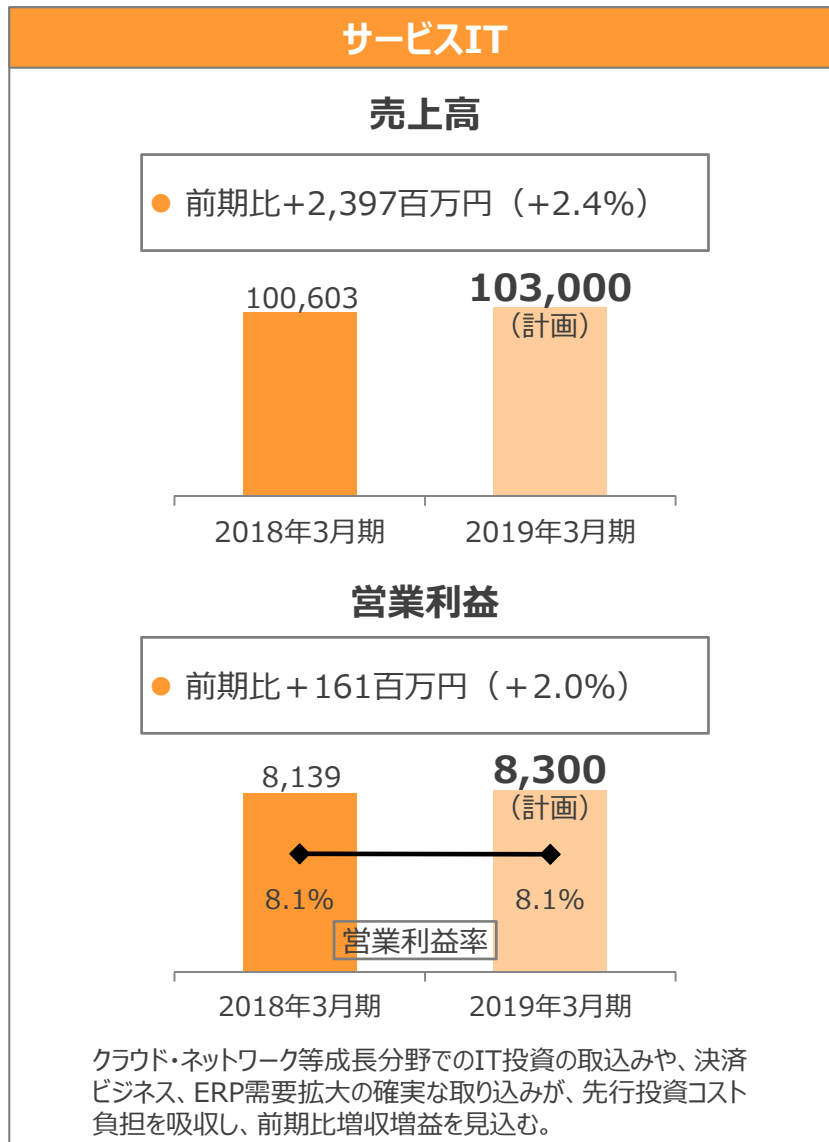
● 前期比 +0.3%



主として収益性向上により、さらなる向上を見込む。

## 2019年3月期 主要セグメント別損益状況（予想）

（単位：百万円）



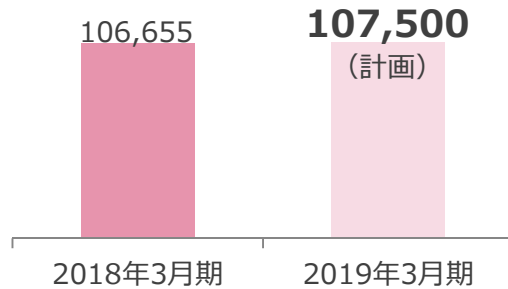
## 2019年3月期 主要セグメント別損益状況（予想）

（単位：百万円）

### 金融IT

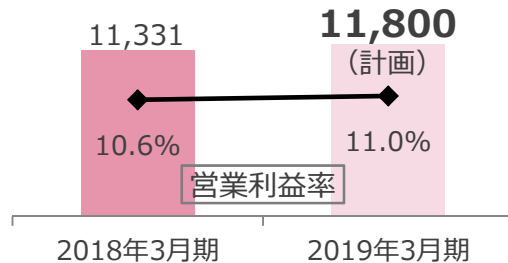
#### 売上高

● 前期比+845百万円（+0.8%）



#### 営業利益

● 前期比+469百万円（+4.1%）

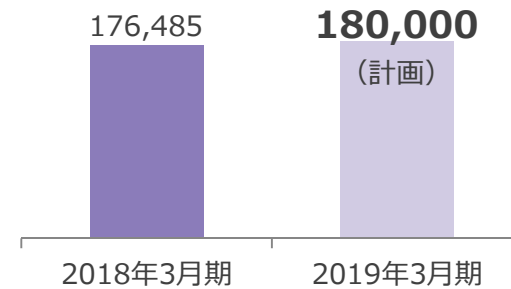


大型案件の着実な遂行と、カード・銀行・保険等根幹顧客との関係強化・先回りの提案による事業拡大、生産性改善により前期比増収増益を見込む。

### 産業IT

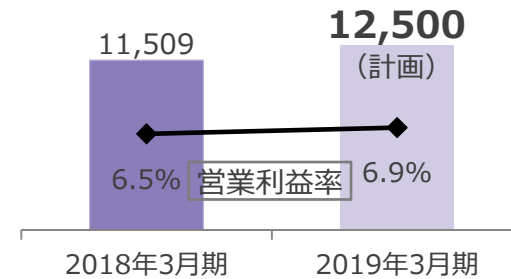
#### 売上高

● 前期比+3,515百万円（+2.0%）



#### 営業利益

● 前期比+991百万円（+8.6%）



コンサル・上流ビジネス強化による高付加価値ビジネスの推進、生産性改善の取組等により、大型案件の反動減を吸収し、前期比増収増益を見込む。

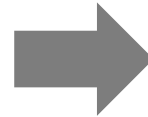
## 2019年3月期 株主還元

### 中期経営計画（2018-2020）における株主還元の基本方針等

成長投資の推進・財務健全性の確保とのバランスをとりつつ、株主還元を強化。

#### これまで

- ・総還元性向35%を目途  
(安定的な配当の継続 + 自己株式取得)



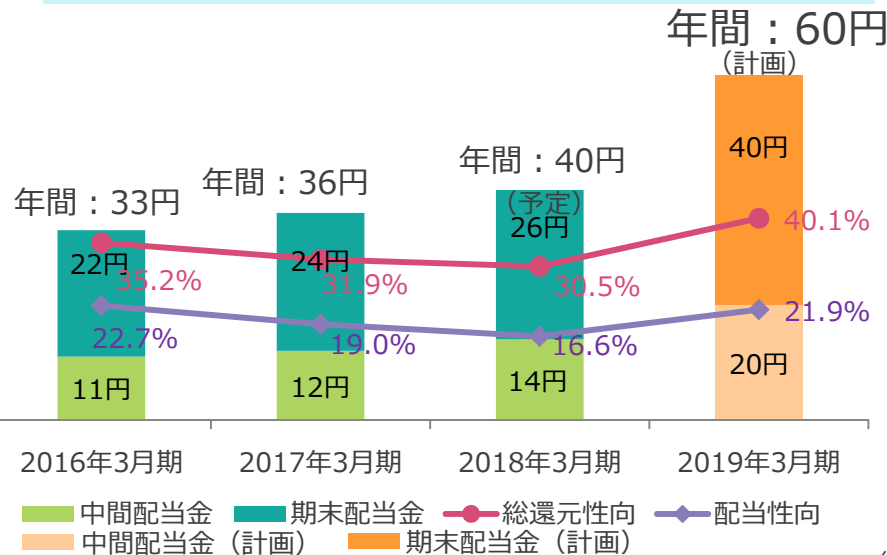
#### これから

- ・総還元性向 40%を目安
- ・配当性向 30%を目安 (2021年3月期)
- ・自己株式保有5%程度を上限 (超過分は消却)

### 1株当たり年間配当金

2019年3月期計画：60円(前期比+20円)

#### 1株当たり配当金等の推移

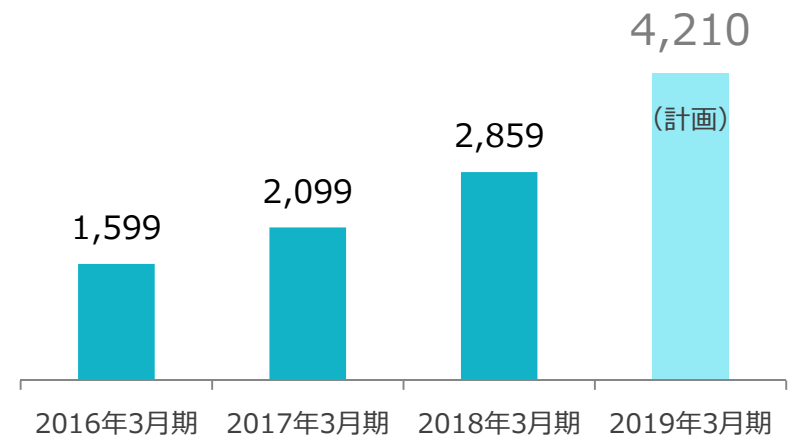


### 自己株式取得

総額42.1億円 (上限) \*

\*2018年5月10日発表の自己株式の取得内容

#### 自己株式取得総額の推移 (単位：百万円)



総還元性向：純利益に対する配当と自己株式取得の合計額の比率

**2018年3月期 業績概要**

**2019年3月期 業績見通し**

**参考資料**

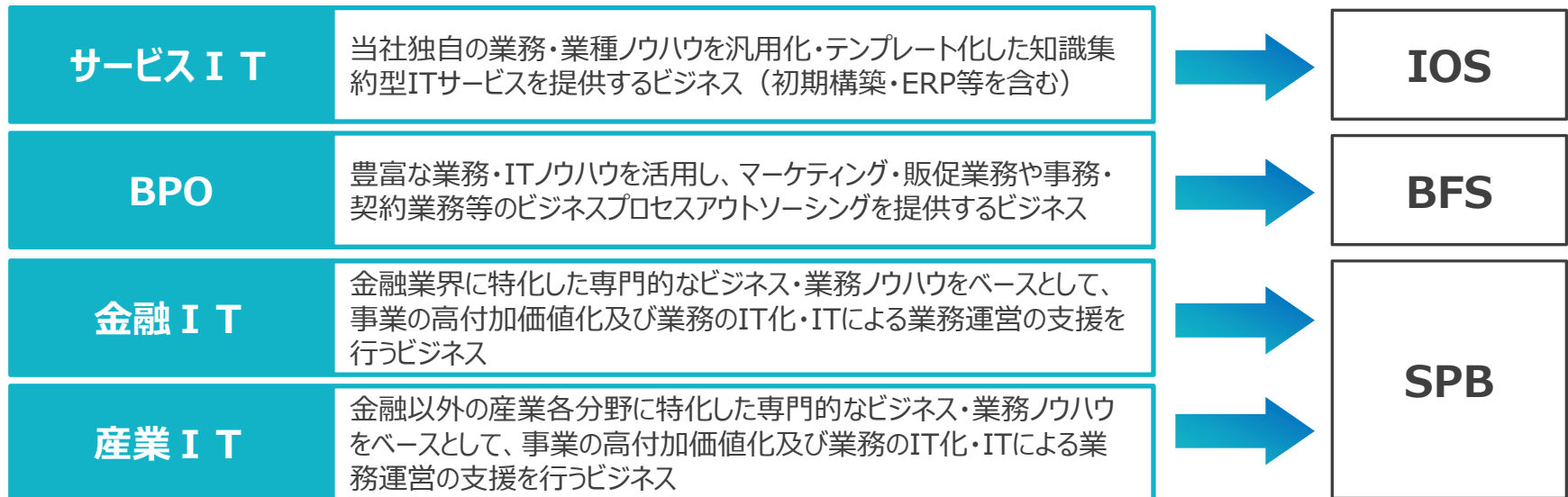
## 構造転換の推進に向けた開示セグメント変更

構造転換の推進に向け、当社マネジメント体制を変更し、「サービス事業統括本部」と「インダストリー事業統括本部」に組織改正。これに伴い、マネジメントアプローチの観点から開示セグメントを2019年3月期より変更。なお、運用等に関わる受注情報の開示も開始。

### <セグメント変更の主なポイント>

- 「サービスIT」を事業単位とし、成長エンジンであるサービス型ビジネスへの構造転換を推進。
- 「BPO」を事業単位とし、業務ノウハウと先端技術活用を組み合わせたBPO高度化により事業推進。
- データセンター事業は、当社グループの幅広い事業を支えるIT基盤と位置付け各セグメントに包含。

### <新開示セグメント>



※上記以外に「その他」セグメントあり。



# 2018年3月期実績・新セグメントベース(売上高及び営業利益)

(単位：百万円)

## ■売上高及び営業利益

旧セグメント	2018年3月期
<b>売上高</b>	<b>405,648</b>
ITインフラストラクチャーサービス	131,700
金融ITサービス	92,983
産業ITサービス	188,626
その他	10,791
内部消去等（差引）	▲18,453
<b>営業利益</b>	<b>32,743</b>
ITインフラストラクチャーサービス	11,743
金融ITサービス	8,042
産業ITサービス	12,835
その他	1,006
内部消去等（差引）	▲884



新セグメント	2018年3月期
<b>売上高</b>	<b>405,648</b>
サービスIT	100,603
BPO	38,257
金融IT	106,655
産業IT	176,485
その他	10,688
内部消去等（差引）	▲27,041
<b>営業利益</b>	<b>32,743</b>
サービスIT	8,139
BPO	1,638
金融IT	11,331
産業IT	11,509
その他	1,010
内部消去等（差引）	▲884

## 2018年3月期実績・新セグメントベース（受注高及び受注残高）

（単位：百万円）

### ■ 受注高及び受注残高（ソフトウェア開発）

旧セグメント	2018年3月期
受注高	219,225
ITインフラストラクチャーサービス	—
金融ITサービス	84,039
産業ITサービス	135,186
旧セグメント	2018年3月期末
受注残高	67,716
ITインフラストラクチャーサービス	—
金融ITサービス	28,461
産業ITサービス	39,255



新セグメント	2018年3月期
受注高	219,225
サービスIT	42,757
BPO	—
金融IT	70,963
産業IT	105,505
新セグメント	2018年3月期末
受注残高	67,716
サービスIT	12,142
BPO	—
金融IT	23,324
産業IT	32,249

### <ご参考>

#### ■ 受注高及び受注残高（全体）

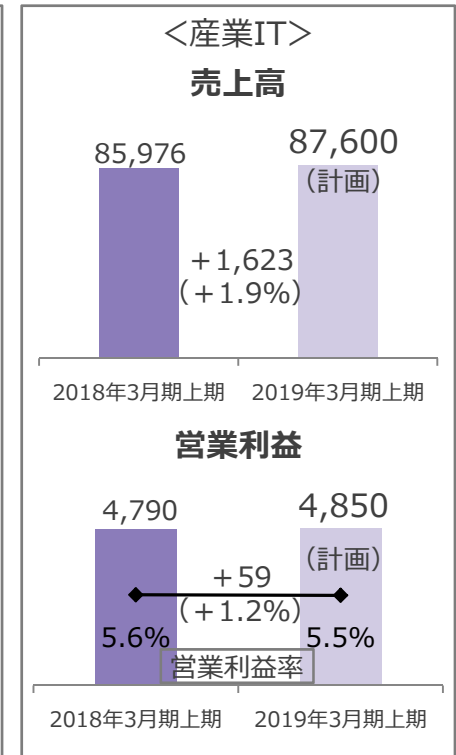
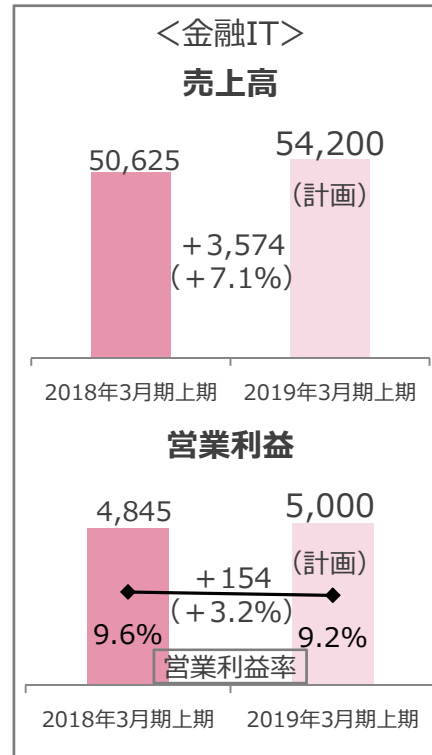
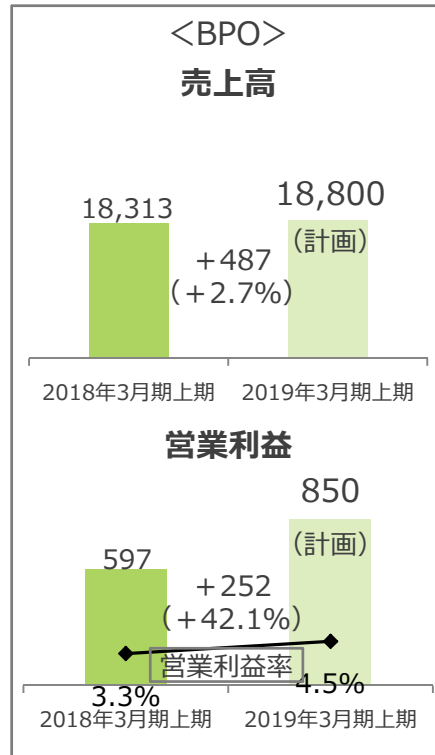
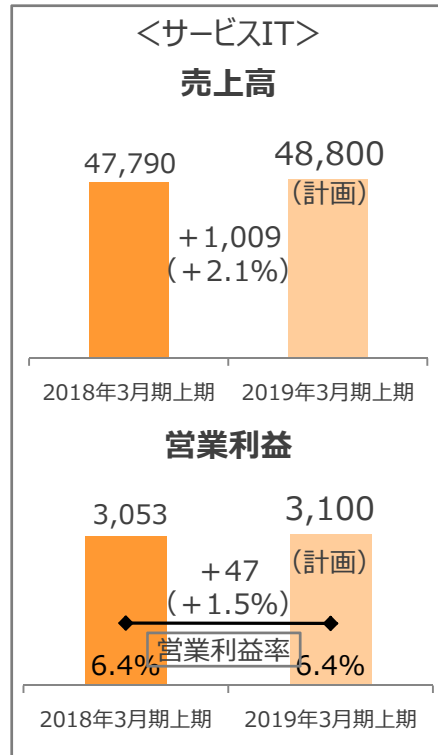
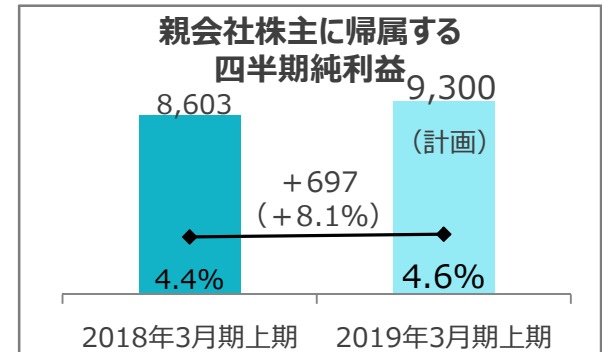
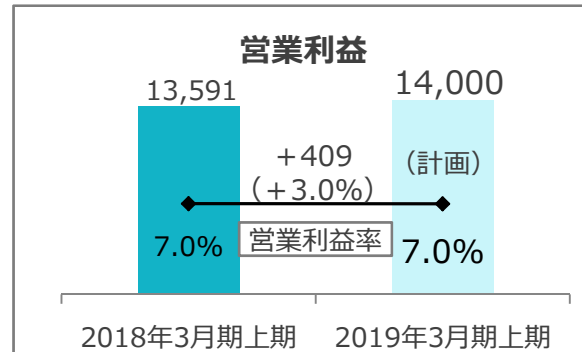
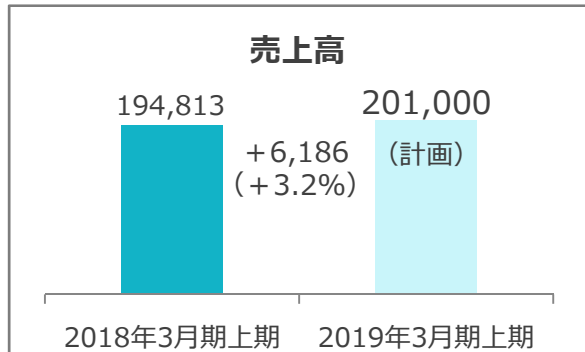
2019年3月期より、  
運用等に関わる受注情報の開示を開始  
（経過措置として半期毎に開示）

⇒ 受注残高 : 2018年3月期末～  
受注高 : 2019年3月期第2四半期～

新セグメント	2018年3月期末
受注残高	122,067
サービスIT	30,693
BPO	—
金融IT	39,254
産業IT	52,120

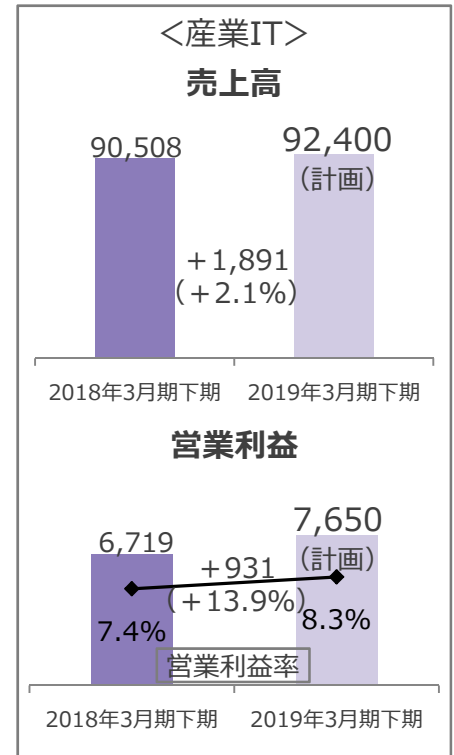
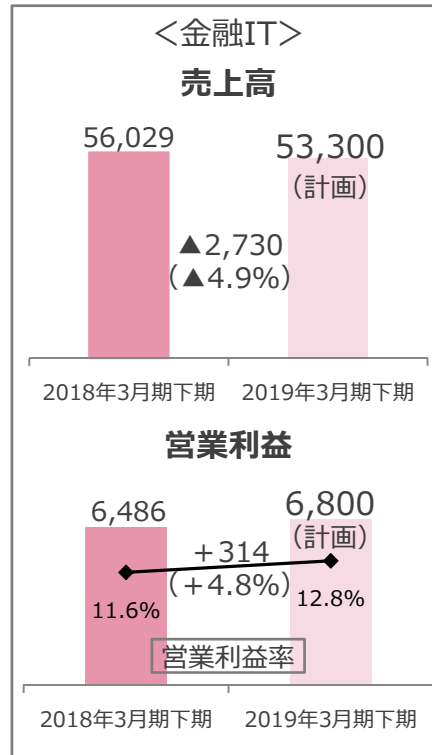
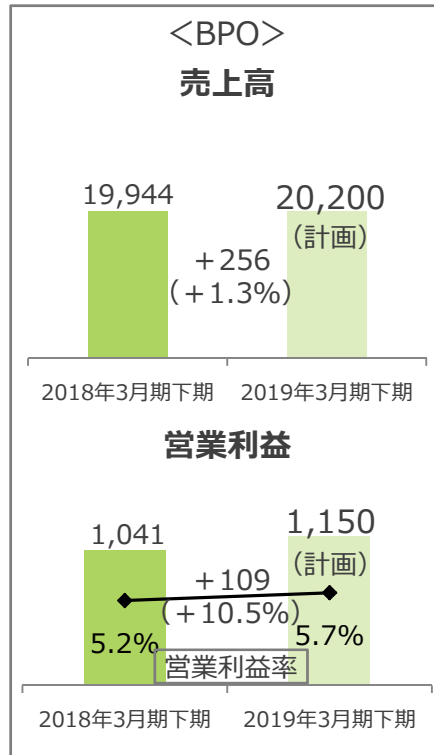
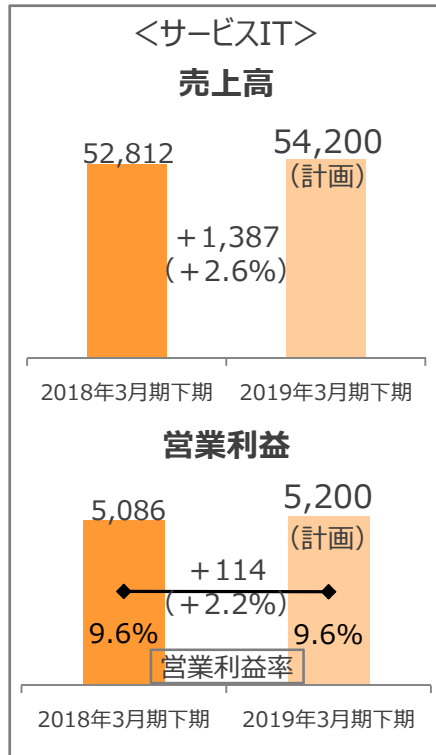
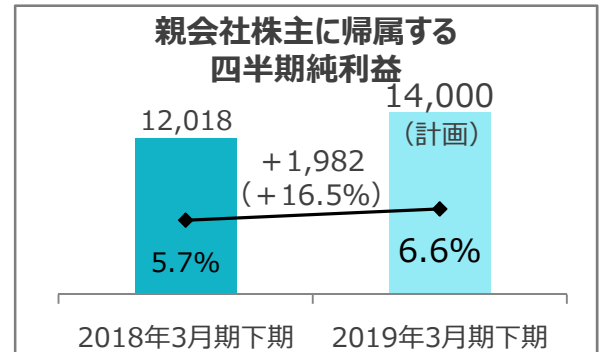
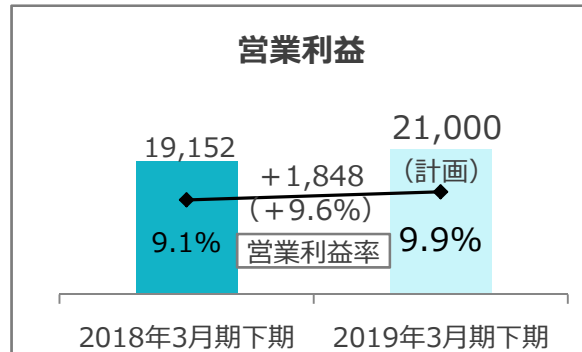
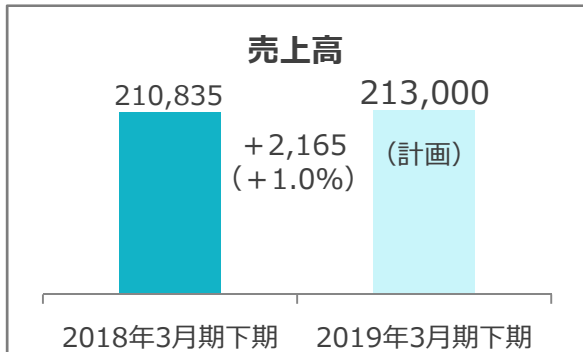
# 2019年3月期上期 業績ハイライト・主要セグメント別損益（予想）

（単位：百万円）



# 2019年3月期下期 業績ハイライト・主要セグメント別損益（予想）

（単位：百万円）



## 2018年3月期第4四半期 プレスリリース/お知らせ①

発表日付	タイトル
2018年1月4日	T I S インテックグループ 2018年年頭所感
2018年1月4日	TISおよび連結子会社の人事異動のお知らせ
2018年1月5日	クオリカ、G P S 関連システムと通信機器の開発に強みを持つ株式会社データロンを子会社化
2018年1月9日	TIS、人材マネジメント基盤の構築と人材データ活用を支援する『Oracle HCM Cloud活用サービス』を提供開始
2018年1月10日	TIS、製造業向けソリューション『LinDo Applications』を提供開始
2018年1月10日	アグレックス、住所の表記方法に関わらず位置情報を取得するツール「AP-GeoMarker」をリリース
2018年1月11日	クオリカ、外食産業向け営業支援システム「TastyQube」のデリバリーECサイト自動連携機能（TastyQubeデリバリーモジュール）を上海で提供開始
2018年1月12日	マイクロメイツ、Windows10/Office2016/Office ProPlusへの移行・定着化支援サービスを提供
2018年1月22日	TISとリアルグローブなどが「IaC活用研究会」を設立
2018年1月24日	TIS長野、生産・原価管理システム「mcframe」のエンジニアリングパートナー契約を締結
2018年1月30日	TIS協賛、三菱UFJリサーチ&コンサルティング主催のアクセラレータプログラムの最終成果発表会を2月28日開催
2018年2月1日	連結子会社の人事異動のお知らせ
2018年2月2日	代表取締役および取締役の異動に関するお知らせ（インテック）
2018年2月2日	アグレックスの顧客常駐型オンサイトサービス子会社をTISソリューションリンクへ移管
2018年2月5日	TISおよび連結子会社の人事異動、機構改革のお知らせ
2018年2月5日	ガイアックスとネクスウェイ、犯罪収益移転防止法に準拠したKYC/本人確認業務の一連のプロセスにおけるAPI連携を2018年夏に開始
2018年2月6日	TIS、大阪市交通局公式アプリ「Otomo!」の会員管理システムなどの構築を支援
2018年2月6日	クラウド・スコープ・テクノロジーズ、ハイブリッドクラウドに対応した統合監視システム『Monarch 1.4』をリリース
2018年2月7日	企業向け研修トレーニングをeラーニング化した、自己学習用コンテンツ「マイクロメイツ かんたん自己学習 Office365/Office2016」販売を開始（マイクロメイツ）
2018年2月13日	TISとBeeXがクラウド事業拡大に向けて資本業務提携
2018年2月16日	凸版印刷とTIS、サイバーセキュリティ分野で協業
2018年2月19日	TIS、AWSの本格利用・大規模展開を支援する『金融業界向けAWS運用テンプレート』を提供開始

## 2018年3月期第4四半期 プレスリリース/お知らせ②

発表日付	タイトル
2018年2月19日	クオリカ、高齢者見守りサービス「CarePAD」のサービス提供開始
2018年2月20日	A J S、化学物質管理システムをリニューアルし「A∞Fit-CHEMS」として提供開始
2018年2月21日	TIS、新規ガス小売事業者向けソリューション『エネLink GAS+』を提供開始
2018年2月21日	マイクロメイツ、『Microsoft Teams』の利活用促進のためのサポートサービスを提供開始
2018年2月21日	セゾン情報システムズとクオリカ、製造業向けのIoTプラットフォーム提供で協業
2018年2月22日	TIS、One to Oneデジタルマーケティングプラットフォームの導入を支援
2018年2月26日	A J S、ファイア・アイ ジャパンの「トップグロースパートナーオブザイヤー 2017」を受賞
2018年2月27日	「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」の導入に関するお知らせ
2018年2月27日	第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ
2018年3月1日	連結子会社の人事異動のお知らせ
2018年3月2日	インテックの「F <sup>3</sup> （エフキューブ）」とFRONTEOの人工知能「KIBIT（キビット）」を連携したデータ解析サービスを提供開始
2018年3月5日	連結子会社の人事異動、機構改革のお知らせ
2018年3月5日	『店舗matic/ Shopらん』の導入店舗数が30,000店舗を突破（ネクスウェイ）
2018年3月9日	連結子会社の人事異動、機構改革のお知らせ
2018年3月14日	インテックが東洋ビジネスエンジニアリングの株式を取得
2018年3月15日	連結子会社の人事異動、機構改革のお知らせ
2018年3月15日	TIS協賛の「MURCアクセラレータLEAP OVER」審査結果発表
2018年3月16日	TIS、スーパーストリームの「移行コンソーシアム」に参画
2018年3月16日	A J S、タレントとの協業によるデジタル面接プラットフォーム「HireVue」の提供を開始
2018年3月19日	三井住友銀行が、TISの与信管理ソリューション「SCORE LINK 海外版」の「英字決算書読取機能」を取扱開始
2018年3月23日	「指名委員会」及び「報酬委員会」の設置に関するお知らせ
2018年3月23日	TISとあくしゅが、共同開発した「インフラ運用テスト基盤」のβ版の提供を開始
2018年3月26日	TIS、スポーツ分野のアクセラレータプログラム『SPRING UP! for Sports』の参加企業の募集を開始
2018年3月27日	TIS、女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定の最高位を取得

## 2018年3月期第4四半期 プレスリリース/お知らせ③

発表日付	タイトル
2018年3月28日	日本政策投資銀行が、TISの与信管理ソリューション「SCORE LINK海外版」の「英字決算書読取機能」を採用
2018年3月28日	インテック、UiPath株式会社とリセラー契約を締結
2018年3月29日	みずほ銀行の「みずほビジネスデビット」発行・運用システムに、TISの『DebitCube+』一部機能が採用



### <ロゴマークに込めた思い>

新たな挑戦の場を表現する「オーシャンブルー」と、堅実さと確かな技術の裏付けを表現する「インテリジェントグレー」の2色で表現されるロゴマークには、私たちのコアコンピタンスである『IT』2文字を包含しています。グループ各社が異なるエキスパートであり、その集合体としてのTISインテックグループの一体感、そして未来へ向かって進み続ける躍動感を表現しています。

### <ブランドメッセージ「Go Beyond」>

現状に満足せず、常に新たなチャレンジを求めて「その先に向かって」歩み続ける。クライアントの課題をクリアするだけでは満足せず、クライアントのさらにその先にあるお客様のニーズを先取りして、「一歩進んだ提案をしていく」という当社グループの強い意思を表明しています。

#### (ご注意事項)

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、TISインテックグループ（TISおよびグループ会社）が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 各四半期会計期間（3カ月）の数値は累計期間の差引により算出しています。
- 2019年3月期から新マネジメント・アプローチの適用に伴い、セグメント区分を変更しています。2018年3月期数値は変更後のセグメントに組み替えて算出したものです。